

令和8年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
警察本部

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【一般会計】

区 分	令和8年度	令和7年度	伸び率
予算総額	179,224,414千円	167,333,242千円	7.1%
一般会計構成比	7.4%	7.5%	—

新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

Ⅱ 主な新規事業及び重要施策

1 県民の暮らしの安心確保

P 4	新規	警察活動における暑熱対策の推進	【厚生課】	69,327
P 5	新規	空撮用ドローンの導入による交通事故事件捜査の合理化	【交通捜査課】	12,879
P 6	新規	匿流及び外国人犯罪対策	【刑事総務課】	99,634
P 7	新規	自動音声ガイダンスの導入	【警務課】	118,788
P 8	一部新規	社会情勢に適応した戦略的採用活動の実施	【警務課】	50,142
P 9	新規	女性警察官の働きやすい職場づくり	【警務課】	10,500
P 10	新規	警察官の増員	【警務課】	414,562
P 11		(仮称)川口北警察署の新設	【施設課、警務課】	4,476,876
P 12	新規	警察本部庁舎再整備の推進 (債務負担行為)	【施設課】 (限度額	11,000 66,000)
P 13		交通安全施設の整備	【交通規制課】	6,155,615

2 誰もが活躍し共に生きる社会の実現

P 14	新規	障害者雇用(会計年度任用職員)を活用した「業務サポートオフィス」の設置	【警務課】	33,531
------	----	-------------------------------------	-------	--------

新規

担当 厚生課 次席
警察本部内線 2761

目的

猛暑・酷暑の環境下において街頭活動を行う地域警察官に冷却ベストを整備し、熱中症の発症リスクを低減することで、能率的に警察活動を遂行し、県民の安全・安心の確保を図る。

事業概要

1 警察活動における暑熱対策の推進

69,327千円

(1) 冷却ベストの整備 69,327千円

- 警察署の地域課（交番、駐在所）に勤務する警察官に、冷却ベスト（空調ベスト）2,151着を整備
- 空調ベストは、警察官が着用する耐刃防護衣の下に着用し、ファンから取り込んだ外気で汗を気化させることで、体温上昇を抑え、熱中症の発症を防ぐ。



（暑熱時期における立番している警察官）



（導入する冷却ベスト（イメージ））

新規

担当 交通捜査課 次席
警察本部内線 5411

目的

空撮用ドローンを導入することにより、交通事故現場の計測及び作図作業をデジタル化して捜査の合理化を図るほか、交通規制等に要する時間を縮減して県民負担を軽減する。

事業概要

1 空撮用ドローンの導入

12,879千円

(1) ドローン図化システム

11,490千円

- 交通事故事件現場を空撮用ドローンで撮影し、写真測量技術を用いた画像の歪み除去、結合、三次元点群生成等のデータ処理を実施し、交通事故現場見取図を作成する。

- ・ドローン本体2機
- ・データ処理端末
- ・写真測量用ソフトウェア、作図用ソフトウェア使用料 等

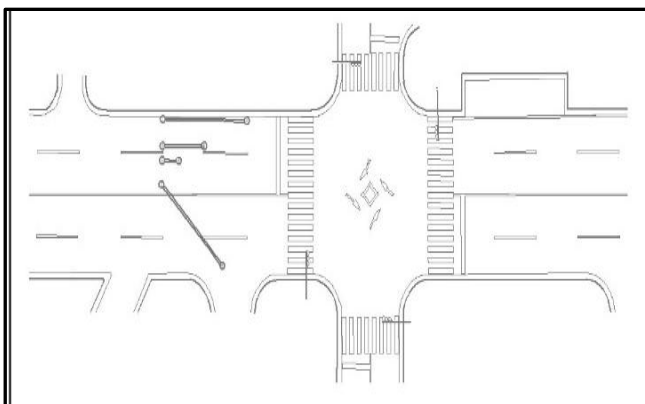


※写真はイメージ

(2) 国家二等ライセンス取得・講習費用

1,389千円

- 道路上空において、ドローンの安全な飛行に資する技術・知識を修得する。



【現状】

- ・警察官の手計測による作図
- ・デジタルステレオカメラによる現場撮影及び作図
- ・交通規制や作図に多くの時間を要する。

【新規】

- ・ドローン空撮により交通規制時間を縮減
- ・画像を図面として使用することにより、作図時間縮減

新規

担当 刑事総務課 次席
警察本部内線 4011

目的

近年の匿名化・巧妙化している犯罪に対応するため、高度な解析機器を県下全域に導入してスマートフォン解析データや防犯ビデオカメラ映像を即時分析し、迅速に犯罪グループを検挙することで県民の安全・安心な暮らしを実現する。

事業概要

1 捜査ネットワーク構築・デジタル捜査機器の拡充

99,634千円

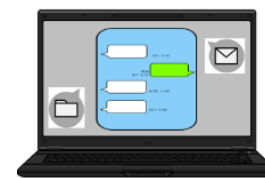
(1) スマートフォンの解析機器等の整備

47,714千円

- ・警察署等にスマートフォン解析機器と解析用高性能端末を新規に整備
押収後に迅速に解析に取り掛かることができ、重要な証拠の早期保全を実現
- ・警察本部にスマートフォン解析ツール効率化オプションを新規に整備
解析能力を大幅に強化し、匿流及び外国人犯罪を始めとした組織犯罪への対応を強化



解析機器、高性能端末(警察署)



効率化オプション(警察本部)

(2) 防犯ビデオカメラ映像解析用ソフトウェアの整備

51,920千円

- ・押収した防犯ビデオカメラ映像を迅速かつ的確に解析するためのソフトウェアを整備
動体検知機能により動きのあるシーンの自動抽出が可能
長時間を要する捜査員の目視による長時間の確認作業を大幅に削減



人の目による長時間の確認作業



動きのあるシーンを自動抽出



動きのあるシーンを自動抽出した状況

※イメージ

新規

担当 警務課 次席
警察本部内線 2611

目的

県民からの架電処理を円滑化することにより、県民の利便性を向上させるほか、職員の電話交換業務従事時間を削減することにより、同時間を現場活動等にシフトさせ、迅速的確な事案対応を図ることで、県民の安全・安心の一層の確保を実現する。

事業概要

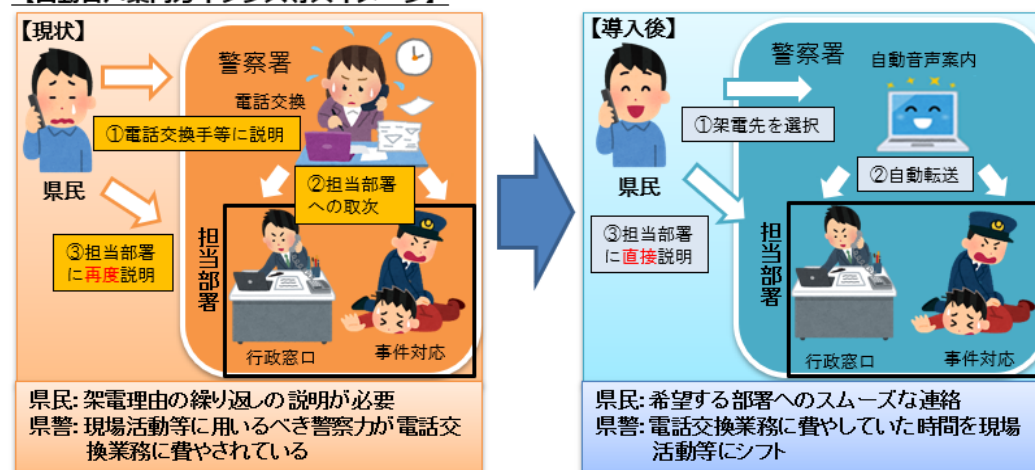
1 自動音声ガイダンスの導入

118,788千円

(1) 自動音声ガイダンスの導入 118,788千円

- 自動音声ガイダンスの概要
警察本部や警察署の代表電話番号に架電した際、電話交換手等を介さず、自動音声ガイダンスにより、架電者が希望する担当部署に直接電話を接続するもの
- 事業から得られる成果
 - ・ 県民が電話交換手等への説明を介することなく、適切な担当窓口に直接アクセスできるため、県民の利便性が向上
 - ・ 警察職員が電話交換業務に費やしていた時間を現場活動等にシフトすることにより、県民の安全・安心確保に向けた警察業務を一層推進
- 事業計画
令和8年度 本部及び19警察署に設置

【自動音声案内ガイダンス導入イメージ】



一部新規

担当 警務課 次席
警察本部内線 2611

目的

民間との人材獲得競争が一層厳しい状況下において、埼玉県のみならず他都道府県から多数の受験希望者を確保し、組織基盤に必要な人材を採用する。

事業概要

1 社会情勢に適応した戦略的採用活動の実施

50,142千円

(1) SPI試験の導入 (新規) 2,370千円

公務員試験対策、民間企業試験対策をしている者のどちらにとっても受験しやすい試験内容とするため、従来の1次試験種目に、SPI試験を導入する。

新規・拡充内容

➢ SPI試験実施経費
(問題提供・判定費用、身体検査費用等)【新規】

(2) 社会人経験者区分の新設 (新規) 1,984千円

社会人経験者区分を新設し、社会人として培った知識、経験、コミュニケーション能力等を警察活動に生かせる人材を獲得する。

新規・拡充内容

➢ 社会人経験者区分
試験実施経費
(問題作成・判定費用、身体検査費用等)【新規】

(3) 試験日程の変更 34,966千円

試験日程を前倒し、民間企業志望者へのアプローチを図るとともに、他都道府県警察と別日に実施することにより受験者の増加を狙う。

※ 金額には、従来の試験実施経費を含む。

新規・拡充内容

➢ 採用試験実施経費
(問題作成費用、身体検査費用、会場借上費用等)【拡充】

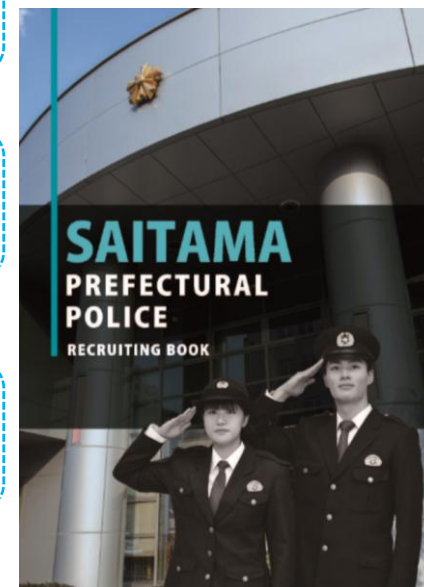
(4) 広報活動の強化 10,822千円

新たな試験制度の導入及び警察の業務紹介の動画、パンフレット等による広報活動に注力することにより、受験者の増加を狙うほか、最終合格者の辞退防止を図り、採用者を確保する。

※ 金額には、従来の広報活動経費を含む。

新規・拡充内容

➢ 募集広報経費
(募集ガイド作成費用、広告料、動画作成費用等)【拡充】



新規

担当 警務課 次席
警察本部内線 2611

目的

性犯罪やストーカー・DV事案等、女性警察官の対応が特に求められる事案への早急な対応を可能とする体制を構築するため、女性施設が未整備となっている交番等に同施設を整備する。

事業概要

1 交番等における女性施設の環境整備 10,500千円

（1）交番等における女性施設の環境整備 10,500千円

- 整備内容
女性用の仮眠室及びトイレが未整備となっている交番等の改修
- 実施事業
令和8年度 6交番の改修に向けた設計業務を実施
(志木駅南口交番、みずほ台交番、小手指駅前交番、鶴ヶ島交番、熊谷駅前交番、松伏交番)

志木駅南口交番



仮眠室



トイレ



新規

担当 警務課 次席
警察本部内線 2611

目的

県民の生活に大きな不安と脅威を与える犯罪等の警察事象に的確に対処するため、警察官を増員し、県民の安全・安心の確保を図る。

事業概要

1 警察官の増員

414,562千円

(1) 警察官 175人の増員（警察官条例定数 11,699人 → 11,874人）

- 配分人数
 - ・全国 475人（13県）
 - ・埼玉県 175人（全国第1位）
- 増員名目
 - ・サイバー空間における対処能力の強化
 - ・匿名・流動型犯罪グループに対する戦略的な取締りの強化
- 増員による効果
 - ・警察官1人当たりの人口負担（※令和7年4月1日推計人口）
626人 → 617人（全国第1位）
 - ・警察官1人当たりの刑法犯認知件数の負担（※令和6年・刑法犯認知件数）
4.42件 → 4.35件（全国第2位）

【警察官の増員状況】

平成13～19年度 計	2,425人
平成21年度	63人
平成22年度	91人
平成23年度	79人
平成24年度	23人
平成25年度	25人
平成27年度	61人
平成28年度	64人
平成29年度	64人
令和7年度	175人
令和8年度	175人



担当 施設課 次席
警務課 次席
警察本部内線 2261、2611

目 的

川口市内の治安状況等に的確に対応するため、同市北東部地域に警察署を新設する。

事業概要

1 (仮称)川口北警察署庁舎建設費 4,271,222千円 (令和8年度)

(1) (仮称)川口北警察署庁舎建設費(3か年継続事業第3年次) 4,271,222千円

〔庁舎概要〕

- ・建設地 川口市西立野地内
(都市計画事業石神西立野特定土地区画整理事業70街区等)
- ・敷地面積 6,673㎡
- ・庁舎規模 鉄筋コンクリート造 4階建て 5,127.88㎡

〔建設計画〕

- ・令和2年度 用地取得(特別会計)
- ・令和4年度 基本設計
- ・令和5年度 実施設計・保留地購入
- ・令和6～8年度 庁舎建設
- ・令和9年3月 開署予定



庁舎イメージ

2 (仮称)川口北警察署開設経費 205,654千円

(1) 警察本部費 28,343千円

光熱水費等の庁用経費、非常勤職員の報酬等の費用等

(2) 装備費 32,721千円

装備資機材、車両の整備費用等

(3) 警察施設費 4,689千円

設備の保守委託料等

(4) 運転免許費 5,771千円

運転免許事務に必要な機器等の整備費用等

(5) 警察活動費 134,130千円

事件捜査・交通取締り資機材等の整備費用等

新規

担当 施設課 次席
警察本部内線 2261

目的

警察本部庁舎の再整備に向け、警察施設の特殊性等を踏まえた導入機能等を検討し、基本構想・基本計画を策定する。

事業概要

埼玉県警察本部庁舎再整備検討支援業務

11,000千円【債務負担行為】66,000千円

(1) 埼玉県警察本部庁舎再整備検討支援業務 11,000千円

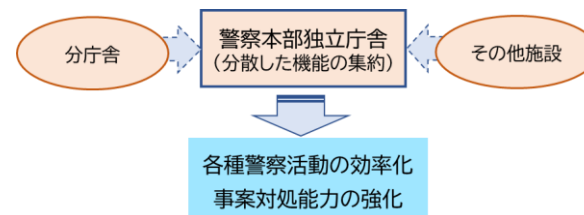
埼玉県では、県庁舎の老朽化等の問題を解決するため県庁舎再整備に向けた検討を行っており、その一環として、県庁第二庁舎に所在する警察本部においても、分散した警察機能の一元化、高度なセキュリティを確保した独立庁舎の新設に向けた検討を進めている。

そこで、警察施設の特殊性等を踏まえた導入機能等を検討するに当たり、民間企業等による専門的知識を活用し、令和8年度及び9年度の2か年で基本構想・基本計画を策定する。

〔業務内容〕

- 令和8年度
 - ・ 基本理念・基本方針の検討
 - ・ 導入機能、性能等の提案
 - ・ DXに伴う働き方の変化とオフィスの変革を踏まえた検討等
- 令和9年度
 - ・ 基本構想・基本計画の策定
 - ・ 施設計画、施設規模、事業手法、整備スケジュール等の検討

【警察機能の一元化】



【高度なセキュリティの確保】



担当 交通規制課 次席
警察本部内線 5161

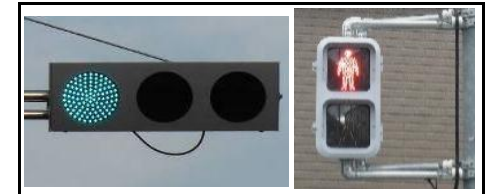
目 的

県民に「安全で快適な道路交通環境」を提供するため、老朽化した信号機等の更新、ゾーン30プラス等の安全対策を推進する。

事業概要

1 信号機の計画的な更新(ファシリティマネジメント)	3,727,011千円
(1) 信号制御機・車両感知器の更新	1,878,241千円
信号機をコントロールする信号制御機、車両感知器を更新する。	
(2) 信号柱の更新	123,080千円
信号機を支えている信号柱を更新する。	
(3) 信号灯器の更新(LED化)	1,661,960千円
老朽化した信号灯器をLED灯器に更新する。	
(4) その他(調査費等)	63,730千円
2 交通安全施設整備費	2,428,604千円
(1) 道路標識の更新	413,924千円
老朽化した道路標識を更新する。	
(2) 道路標示の補修	517,877千円
摩耗した横断歩道や停止線等を補修する。	
(3) ゾーン30プラスの整備	33,156千円
(4) 既設道路対策	215,585千円
既設道路の安全対策として、信号機の新設や道路標識等を整備する。	
(5) 新設道路対策	452,677千円
新設道路の安全対策として、信号機の新設や道路標識等を整備する。	
(6) その他(信号機改良、大型標識撤去等)	795,385千円

信号灯器の更新(LED化)



ゾーン30プラスの整備



ゾーン30プラス及びスムーズ横断歩道の整備状況

新規

担当 警務課 次席
警察本部内線 2 6 1 1

目的

公務部門として率先した障害者雇用を推進し、雇用した障害者が働きやすい職場環境を整え、一般就労へつながる支援を行う。業務サポートオフィスで警察署等の業務を受託・処理することにより、警察職員の現場活動等を強化する。

事業概要

1 業務サポートオフィスの運営事業

33, 531千円

(1) 業務サポートオフィス運営事業費

33, 531千円

- 7人の障害者を雇用し、障害者雇用を推進する。
- デジタル化対応のため、パソコン等のIT機器を整備する。
- 障害の特性に合わせて勤務ができるよう、フラットフロア、昇降機、デスクパネルを設置するなど施設面において障害者が働きやすい環境を整備する。



※業務サポートオフィス(イメージ図)



封筒作成



データ入力



ポスター仕分け

※作業例(イメージ)